

東大阪

おおさかしょうぎょうだいがくにおかぎねんかん 大阪商業大学谷岡記念館

昭和9年の室戸台風により倒壊した大阪城東商業学校（現大阪商業大学）の木造校舎に代わり、昭和10年12月に竣工した建物。設計は早稲田大学の清水先生と福田兵次郎氏、施工は大阪城天守閣を設計した波江梯夫氏が担当した。

鉄筋コンクリート構造4階建。間口15間・奥行25間の平面規模で南面に玄関、その上部に搭屋を設け時計台としている。

シンメトリーな南側立面は、建物の正面性を表現。白い壁に設置されたアーチ窓と上部の円形窓が印象深く建設当時としては先駆的な意匠であった事が窺える。

建物完成当時は『白亜の殿堂』と評された。

1・2階部分は中央廊下の左右に居室を配する中廊下型プラン。その上階3・4階を吹抜とした1500名収容の講堂を設



南東面から見る



階段手摺照明と1階中廊下



講堂（1500名収容）

所在地：東大阪市御厨栄町4-1-10
最寄駅：近鉄奈良線河内小阪駅下車北東へ徒歩5分
開館時間：午前10時～午後4時30分
休館日：日曜日・祝日・創立記念日（2月15日）
年未年始・大学の休暇日
連絡先：学校法人 谷岡学園 TEL：06-6781-0384

けるという平面プランとなっている。

玄関横の階段手摺に設置された照明と、廊下天井に等間隔に設置された球形の照明が室内の雰囲気を作りだしている。3.4階講堂の大空間に設置されたなだらかなアーチ天井も印象深い。

昭和55年（1980）大阪商業大学の正門前から、約33.5m北西に移動させるとともに、改築復元が行われ、現在は近世大阪の商業に関する古文書・貨幣・両替屋で使用された道具類・河内の農具・木綿資料を展示する商業史博物館として利用され広く一般にも公開されている。

本建物は外観及び内部の意匠にすぐれ、「造形の規範となる」ことから、平成12年（2000）に東大阪市では最初となる国の登録有形文化財として登録されている。（篠原利一）